



杉並区議会だより

[発行] 杉並区議会 [編集] 区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎ 3312-2111 FAX 5307-0695  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>



2018年

今年もよろしく  
 お願い申し上げます

杉並区議会議員一同



議場の議席にて撮影

平成29年

## 第4回定例会

### 「一般会計補正予算(第5号)」、 保育料の見直しに関する条例改 正等を可決しました

第4回定例会は、11月16日から12月6日まで21日間の会期で開かれました。初日から4日間は、21名の議員が区政一般について質問しました。

今定例会では、補正予算1件、条例10件、土地の取得など15議案の審議を行い、全て原案どおり可決しました(審議の結果は8面をご覧ください)。

## 新年のごあいさつ



杉並区議会議長  
 富本 卓

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成30年の年頭にあたり、杉並区議会を代表して一言、ごあいさつ申し上げます。昨年は、将棋の藤井聡太四段が連勝新記録を作り、白井健三選手が体操世界選手権個人総合で銅メダルを獲得するなど、若い力が大きくのびやかに活躍しました。その一方で、九州北部豪雨や海外の主要都市でのテロ、繰り返される北朝鮮のミサイル発射など、自然災害や緊張感が高まる事件が発生しました。

杉並区政に目を転じますと「すぎなみ保育緊急事態宣言」解除や南伊豆町との自治体間連携による特養ホーム入所申し込み開

始、首都直下地震被害想定シミュレーションの公開、杉並清掃工場の本稼働など、区民生活に深く関わる取組が、大きく踏み出した年でもありました。

杉並区議会では議会改革特別委員会をはじめ、新地方公会計制度に関する勉強会を行うなど、行政のチェック役という機能を果たして信頼される議会づくりに向け日々励んでおります。ここ数年、地方議会・地方議員について様々な報道がなされていますが、そうした中、杉並区議会ではそれぞれの議員が当選させていただいた時の熱き思いを忘れず、議員の責任を自覚し、本分を果たすべく全力を挙げて努めております。

今年の初夏には、杉並区長選挙・杉並区議会議員補欠選挙が執行されます。ぜひ、区民の皆様には、これまで以上に区政および区議会に関心を持っていただき、選挙に足を運んでいただければと存じます。

区民の皆様にとって、本年が笑顔あふれる年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

# 年頭のびあいさつ

## 杉並区議会 自由民主党

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、内閣府が公表した「国民生活に関する世論調査」では、今の生活に満足していると答えた方が74%となり、調査開始以降で過去最高の割合となりました。要因の一つとして、リーマンショックという経済危機を乗り越え、ようやく景気が回復基調に入り、失業率が大きく改善して雇用の安定につながったということが大きなポイントになったと言えます。そして、もう一つには、東日本大震災からの復興過程において、人々

が「絆」を今まで以上に意識する様になったということも忘れてはなりません。「利己」から「利他」へ。「個人」から「地域・共生社会」へ。これまで身の回りで当たり前のよう感じていたことが、改めて幸せだと思えるように変わっていききました。日本社会はまさに転換点を迎えています。そうした中、区政において、保育所の待機児童は喫緊に解消しなければならぬ引き続きの最重要課題です。しかし、そこには多大なコストと人員が掛かることはご承知のとおりです。医療・介護の問題や特別養護老人ホーム建設についても同様のことが言えます。



対応にご理解が得られるのはどこまでなのか、「福祉」と「サービス」の線引きをより明確にしていく必要があります。皆様の知恵も貸していただきながら進めていくことが、大切だと考えております。

私たちが杉並区議会自由民主党は区議会第一会派として、社会の変化をしっかりと見極めつつも、全体最適・長期最適の観点を軸とし、次世代を見据えた上で、引き続き地域に根付いた政治を展開してまいります。

本年も変わらぬ温かいご理解とご支援を賜ります様にお願い申し上げます。平成30年の年頭のごあいさつと致します。

はなし 俊郎 (副幹事長)	井口 かづ子	富本 卓
脇坂 たつや (幹事長)	吉田 あい	大熊 昌巳
大和田 伸	今井 ひろし	浅井 くにお
大泉 やすまさ	井原 太一	

## 区民フォーラム みらい

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。

現在、我が国は世界でも類を見ない超少子高齢社会を迎えています。こうした中、本区においては、高齢化率が20%を超えました。高度経済成長期に建設された約600カ所に及ぶ区立施設は、老朽化に伴う建て替えが待たない状況です。

また、区民ニーズに合わせた保育待機児童対策や介護施設の整備等は、引き続き早急

安斉 あきら (幹事長)	河津 利恵子	太田 哲二
上野 エリカ	山本 あけみ	増田 裕一 (副幹事長)

## 日本共産党 杉並区議団

新年おめでとうございます。この間の社会保障改善により住民生活は深刻な影響を受けています。

私達は、区内の様々な団体や区民の皆様と意見交換を重ね、質疑や区に対する要望活動を通じ、政策実現に取り組んでまいりました。その結果、子育て支援や高齢者施策、防災対策で一定の前進を得ることができました。

本年は、区民の皆様と共に創り上げた、杉並区基本構想の着実な実現に努めると共に、限られた財源の中でも多様な区民要望に可能な限り応え、行財政改革をさらに推進し、未来に向けて持続可能な区政経営を目指します。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

### 杉並わくわく会議

明けましておめでとうございます。年末の区議会では保育料値上げが可決されてしまいました。杉並区は400億円以上の基金があるのに区民負担を

富田 たく	金子けんたろう (副幹事長)	くすやま 美紀
上保 まさたけ	山田 耕平 (幹事長)	

増やし、そのお金は無駄に巨大な施設の建設やまだ新しい校舎の解体などに使われます。今年区長選挙の年。区民の力で区政を転換しましょう。

松尾 ゆり

＊年頭にあたり、議会各会派のあいさつをお届けします＊

区立施設再編整備計画では区民の財産でもある区立施設が次々と削減されています。区立保育園の大規模民営化等、自治体の責任が大きく後退していることも問題です。

田中区政は住民無視、議会

一方、杉並区の財政力は極めて豊かであり、昨年度は34億円の税金を積み増し、現在479億円の税金を貯め込んでいます。豊かな財政力は住民生活を守るためにこそ活用すべきです。

区立施設再編整備計画では区民の財産でもある区立施設が次々と削減されています。区立保育園の大規模民営化等、自治体の責任が大きく後退していることも問題です。

田中区政は住民無視、議会軽視を深刻化させており、各地で区政運営の問題を指摘する声が上がりが続いています。

多くの会派が区長追隨の杉並区議会において、田中区政の強権的な区政運営と対決し「区民が主人公」となる杉並区政への転換を目指します。

憲法9条改憲が狙われるなか、日本共産党は多くの市民と共同し、憲法と平和を守りぬくため力を尽くす決意です。

### 杉並区議会

あけましておめでとうござい  
ます。皆さまには、お健やか  
に新年をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。また、日  
頃より、杉並区議会公明党へ  
温かいご理解とご支援を賜り  
心より感謝申し上げます。

杉並区は、超高齢社会への  
対応、子育て・教育環境の整  
備、災害対策、まちづくりや  
地域の活性化など課題は山積  
しています。

昨年は、保育の緊急対策の  
結果、待機児童解消までもう  
一步となり、その後、さらな  
る定員増に努めてまいりまし  
た。また、区独自の首都直下  
地震の被害シミュレーション  
を公表し、震災対策の重要性  
をあらためて共有することが  
できました。そして、天沼3  
丁目建設が進められていま  
した地域包括支援の中心拠点

となる「ウェルファーム杉並」  
が、今年竣工となります。さ  
らには、10年来地域の皆さま  
と検討を重ねた施設一体型小  
中一貫校「高円寺学園」も着工  
となり、また、杉並第一小学  
校の移転改築も決定しました。  
本年は、杉並区基本構想を  
実現するための総合計画・実  
行計画の改定の年に当たりま  
す。子どもたちの未来を拓く  
「チルドレンファースト」、  
超高齢社会を「幸福社会」に  
さらなる「安全・安心のまち  
づくり」を重点に、政策提言  
をしてまいります。

公明党はネットワーク政党  
です。国会議員、地方議員、  
3千人の連携による政策提案  
実現集団です。それは、住民  
の皆さまとの生活現場での一  
対一の対話に支えられている  
からです。本年も皆さまと  
ともに、直面する課題に果敢に  
挑戦してまいります。何卒よ  
ろしくお願い申し上げます。



大槻 城一



渡辺 富士雄



島田 敏光  
(幹事長)



横山 えみ



山本 ひろこ



中村 康弘  
(副幹事長)



北 明範



川原口 宏之

### いのちのち 平和クラブ

新年おめでとうござい  
ます。区の人口は増加の一  
途をたどる一方、2025年  
問題や高度経済成長期に建設  
された区立施設の再編など区  
政を取り巻く課題は山積みで  
す。地域の多様な暮らしを支  
え、個々に分断された社会で  
はなく互いにつながり、支え  
あう「お互いさま」のまちづ  
くりが必要とされています。

私どもいのち・平和クラブ  
は、まず第一に「子育ての社  
会化」を求め、保育園待機児  
童の解消、乳幼児から中高生  
の安全な居場所、子どもの貧  
困やいじめ対策、虐待防止な  
どの施策を求めてきました。

また、超高齢社会の到来を  
見据えた特養の待機者解消、  
地域包括ケアシステムのさら  
なる深化、在宅介護・医療体  
制の強化など高齢者福祉の充  
実を求めてきました。  
さらに、障害者差別解消法  
の理念に則った施策やLGB



所ね 文子  
(副幹事長)



新城 せつこ



けしば 誠一



川野 たかあき



奥田 雅子



市来 とも子  
(幹事長)

### 自 民 無所属クラブ

明けましておめでとうござ  
いませう。昨年の区政は保育所  
待機児童ゼロに取り組みまし  
たが、残念ながら結果を出す  
に至りませんでした。

わが会派としては、借金依  
存型財政運営の不安定さや課  
題解決への対応手法に疑問を  
呈し、さらに個人情報紛失  
等不祥事の頻発、議会対応の  
不手際など全体的に緩みを感じ

T支援など差別のない地域づ  
くりに取り組んできました。  
環境・防災の観点からは、  
ごみ減量やフードドライブ、  
みどりの保全、防災のまちづ  
くりを力を入れてきました。  
国政では、憲法を壊し、沖  
縄の辺野古基地や原発再稼働  
の強行など地方自治と民主主  
義がないがしろにされていま  
す。立憲主義を守り、何より  
いのち・暮らし・平和を大事  
にするため努めてまいります。  
本年も宜しく願います。

### 美しい杉並

待機児の多い地域を無視し、  
特定地域に偏って保育園を作  
り、結果、待機児ゼロは達成  
できず、財政も悪化。慌てて  
保育料の値上げをする一方で、  
区長や議員の給料をアップす  
る区の姿勢は許されません。  
今年も一貫して是は是非、非  
は非と訴えてまいります。  
杉並の未来を真に築きたし  
いざ改めむ今の区政を



田中ゆうたろう



松浦 芳子



佐々木 浩  
(幹事長)

じざるを得ず、綱紀粛正を訴え  
てきました。  
その根底にあるのは区政の中  
長期的視野が不明瞭であること  
に尽きます。目前の事象への慌  
ただしい対処は、結果として全  
体に悪影響を波及させます。長  
期最速・全体最適の言葉が上滑  
りするのでなく、それを実践し  
てこそ本来の意味を持ちます。  
新年を迎えるにあたり、わが  
会派は今後も田中区政に対し馴  
れ合いになることなく、本来の  
議会の機能である行政運営の監

### 無 所 属

昨年は杉並区政の制度疲労  
が顕著になった一年でした。  
例えば、ジョイフル杉並(区  
が実施している中小企業向け  
福利厚生事業)に長く参加資  
格のない企業を違法に団体参  
加させていながら、それが発  
覚しても不当利得返還請求を  
行わないなど法令違反が放置  
されています。本年は区長交  
代で区政を一新させましよう。



堀部 やすし



小林 ゆみ



藤本 なおや  
(副幹事長)

視をさらに強化し、時に正当  
な評価をしながらも、誤りは  
厳しく指摘し、是々非々の立  
場を全うしていきます。目先  
の利にとらわれず、次世代に  
責任が持てるよう今後も積極  
的な政策提言に努めてまいり  
ます。  
本年の区民の皆様のご健勝  
を心より祈念申し上げます。



木村 ようこ

### 日本維新の会

あけましておめでとうござ  
いませう。昨年は会派名を「日  
本維新の会」と改め、新たな  
船出を切ることができました。  
引き続き税金の無駄遣いに  
メスを入れ、子どもや独居高  
齢者など、本当にサポートを  
必要とする方たちの声を区政  
に届けていきます。そして、  
将来世代を見据えた改革を実  
直に進めてまいります。



木梨 もりよし

新年を謹んでお慶びを申し  
上げ、ご家族皆様のご健康と  
ご多幸を、心よりお祈り申し  
上げます。  
大自然と共に、人々と共に、  
共に生きる世の中を、杉並か  
ら広げていきましょう。  
この世に生を受けた、かけ  
がえのない私たち一人一人の  
命が輝いて生きていく杉並を  
目指していきましょう。

# 区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

11月16日・17日・20日・21日に21名が質問しました。その要旨をお知らせします。

保育の安全対策と学校教員の働き方改革について



今井ひろし (自民)

**問** 国の全国調査によると保育園の重大事故が増加している。防止に向けた区の対応を問う。  
**答** 子どもたちの尊い命や身体を守ることは、何にも増して大切で絶対無二のもの。園長経験者による巡回指導や私立職員も参加できる危機管理の研修などを実施し、区内全保育施設の安全安心対策に力を注いでいる。



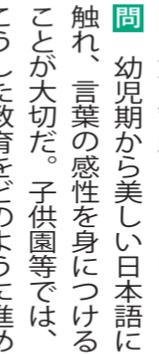
**問** 国の安心子育てプランに基づく補助金を活用した区の保育施設整備推進について問う。  
**答** これまでも補助制度は活用してきたが、今後も最大限活用して保育施設整備に努めていく。  
**問** 平成30年度から新学習指導要領が移行措置期間として半数の教科が始まるが、準備状況は。  
**答** 各学校で教員や保護者への周知を図るとともに、既に教育課程の編成や各教科等の年間指導計画の検討に着手している。  
**問** 新学習指導要領は授業数増加を予定しているが、教員の働き方改革について問う。  
**答** 校務支援システムの導入や学校支援本部の全校配置など他自治体に先駆けて支援体制の構築を図っているが、今後もできることから着実に進めていく。

国語力を育てることは子供の生きる力や学力を高める基礎だ



井原太一 (自民)

**問** 若者の言葉の乱れ、読書離れ、国語力や読解力の低下が叫ばれているが、区の見解と、学校教育での取組を問う。  
**答** 子どもたちが言葉の持つ意味や背景を正しく理解し、自らの思いや疑問を言葉で適切に表現する力を養うことは重要。各学校では国語科をはじめとする全ての教育活動を通して、それらの力の育成を図っている。



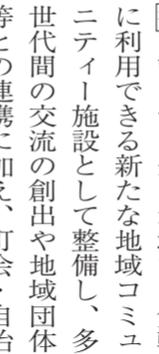
**問** 幼児期から美しい日本語に触れ、言葉の感性を身につけることが大切だ。子供園等では、こうした教育をどのように進めているのか、問う。  
**答** 友達や保育者と一緒に遊ぶ中での言葉のやり取りや絵本等を通して、言葉への感覚や言葉で表現する力を育んでいる。  
**問** 乳幼児期から長時間スマートフォンを見せる親が増え、弊害が指摘されている。これについて、家庭教育等の取組を問う。  
**答** ICT機器の適切な使用と外遊びなど実体験とのバランスが大切と考え、PTA等と連携し「子どもとスマートフォン」をテーマとした講座の開催など、子育てについて様々な角度から考える機会を提供している。

区立施設再編整備計画と2020年東京大会を問う



大熊昌巳 (自民)

**問** 区民生活における地域の拠点、区はどこと考えるか。  
**答** 地域区民センターや図書館、体育施設、今後整備していく新たな地域コミュニティ施設など、関心や活動内容に応じた様々な施設が拠点と考えている。  
**問** ゆうゆう館や集会施設等は、施設再編を通して地域にどのように資する施設となるのか。  
**答** 誰もが身近な地域で、気軽に利用できる新たな地域コミュニティ施設として整備し、多世代間の交流の創出や地域団体等との連携に加え、町会・自治会など地域団体の活性化にもつなげていきたい。



**問** 施設再編が進むが、地域には区の見ええる窓口が必要。  
**答** 施設運営の直営、委託を問わず、きめ細かな対応を心がけ、区の顔の見える窓口として機能するよう努めていく。  
**問** 2020年東京大会へ向け、区民懇談会を通して区独自のさらなる活動を求める。  
**答** 杉並らしく区民が盛り上がる取組として、広く区民が参加できるスポーツや子どもたちが参加できる企画を区民懇談会の実行委員とともに実施していく。

小中学校へのスクールカウンセラーの派遣回数増を!



浅井くにお (自民)

**問** 小中学校全校に配置されているスクールカウンセラーの派遣回数を増やす必要がある。また、教育相談体制の充実が重要だ。教育委員会の考えを問う。  
**答** 教育相談員を置き、スクールカウンセラーの相談業務を支援している。今後も相談・支援体制等の見直し・改善に努める。



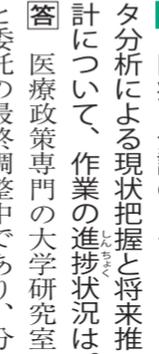
**問** 私が要望し始まった、小中学校の特別教室へのエアコン整備。未整備校の解消に力を入れていくのか教育委員会に問う。  
**答** 平成30年度予算編成や区の実行計画の改定の中で、未整備校の解消を検討していく。  
**問** 都市農地保全策のひとつ、生産緑地に関する法制度改正の動きを踏まえ、特定生産緑地地の指定目標を持つ必要があると考えるが、区の考えは。  
**答** 国から都市農地は貴重な緑地として保全すべきという方針も示されており、農業者の意見等を伺い、保全に取り組む。  
**問** 前回の東京オリンピック開催時と同様に、青梅街道を聖火リレーコースとするよう以前要望したが、区の取組を問う。  
**答** 区内がリレールートとなるよう声を上げていく。

安心の在宅医療・介護の連携と提供体制構築の推進を



中村康弘 (公明)

**問** 在宅医療・介護連携推進事業において、今後どのように切れ目のない安心の在宅サービス提供体制を構築していく考えか。  
**答** 天沼3丁目複合施設内に平成30年4月に在宅医療・生活支援センターを開設し、相談窓口の機能を強化する。さらには33年度には同施設に特養棟を開設し、さらなる施策の充実を進める。



**問** 医療・介護のレセプトデータ分析による現状把握と将来推計について、作業の進捗状況は。  
**答** 医療政策専門の大学研究室と委託の最終調整中であり、分析結果の活用について医師会や関係団体と協議を進めている。  
**問** 在宅医療・生活支援センターの推進体制と活動方針は。  
**答** 高齢者のみならず、障害者、難病患者、子どもなど幅広く在宅医療の相談に対応できるように、専門性を強化し機能充実を図る。  
**問** 他自治体の医療機関等との広域的な医療・介護連携体制整備に向けた取組状況は。  
**答** 東京都地域医療構想調整会議等の機会を活用し、広域的な医療機関との地域医療連携を深め、区民が安心して在宅医療を受けられる環境を整備する。

住宅確保、国保料引き下げなど、くらしを守る施策の拡充を



くすやま美紀 (共産)

**問** 公営住宅の増設、家賃助成の実施に踏み出すべき。低所得者、高齢者、障がい者などが安心して住み続けられる住まいの確保に向け、どう取り組むのか。  
**答** 公営住宅の増設や家賃助成を行う予定はないが、居住支援協議会などでモデル事業の実施や各事業主体との連携強化など、様々な取組に努めている。



**問** 国民健康保険は、来年度から都道府県化される。法定外繰入を継続し、保険料を引き上げないように求める。都にも財政支援を求め、区として1人1万円を引き下げ実施を求める。  
**答** 財政運営の責任主体となる東京都に対し、特別区長会を通じて、都の責任で、低所得者等に対する保険料負担軽減策や国保制度改革に伴う激変緩和策の実施を要望している。年額1万円の引き下げを行う予定はない。  
**問** 準要保護世帯に対する就学援助入学準備金について、新宿文京、府中、狛江などで増額を実施または実施予定。杉並区も要保護世帯並みに増額すべき。  
**答** 区独自に保護者負担軽減策を実施しており、現時点で増額するとの判断には至っていない。

方南町駅エレベーター  
利用開始！さらなるバ  
リアフリーを！！



富田たく  
(共産)

**問** 方南町駅のエレベーター利  
用開始が12月9日に決定したと  
11月8日に東京メトロから私宛  
てに電話があった。町会・自治  
会、商店会など地域の声はメト  
ロや区を動かしたと実感してい  
るが、区の受け止めを確認する  
るが、区の受け止めを確認する  
**答** メトロ、区が最大限の努力  
を行った結果と認識している。

**問** 私もそう思うが、住民の方  
々の努力も大変大きかった。住  
民の要請などがなければ、土地  
取得も利用開始も遅れていた。  
この点について区の認識は。  
**答** 地域の皆様の努力、熱意が  
実を結び、今日の第一歩を踏み  
出せた感慨深い思いでいる。



**問** 新出入口の階段だけでも前  
倒し利用をメトロに要請すべし  
**答** 早期の利用開始に関するご  
意見はメトロに伝えていく。

**問** 東側出入口はバリアフリー  
未対応。エレベーター等設置を。  
**答** 重大な課題と認識し、エレ  
ベーター設置も含め早期のバリ  
アフリー化を求めていく。

**問** 丸ノ内線本線直接乗り入れ  
に向けた、方南町駅の6両編成  
対応工事の完了時期はいつか。  
**答** 平成31年度上半期と聞いて  
おり、早期の完了を求めていく。

大胆な発想で中学校生  
徒の希望に応じた部活  
動を設置せよ



安齊あきら  
(未来)

**問** 生徒が参加したい部活動が  
必ずしも中学校に存在していな  
いことが国の調査から読み取れ  
る。教育委員会はどうか捉えるか。  
**答** 教員数の減少や教員の意識  
・実態の変化等に伴い、ご指摘  
の実態にあると受け止めている。



**問** 他自治体で拠点校方式の合  
同部活動や小中連携部活動の取  
組がある。生徒の多様な要望や  
教員の負担軽減等の観点から有  
益であり、検討すべきと考える。  
**答** 実施内容や生徒の参加状況  
等を調査し、本区の部活動支援  
にどう生かせるか検討したい。

**問** 拠点校方式を導入した場合  
持続可能な運営のため、最終的  
に地域が支える総合型地域スポ  
ーツクラブへの移行も視野に入  
れるべきと考えるが、見解は。  
**答** 今後を考えると、大いに参  
考にすべき発想と受け止める。

**問** 中学校の部活動は大胆な改  
革が必要。今後の在り方につい  
て、教育長の見解を問う。  
**答** 部活動の民間クラブ化は様  
々な課題解決が必要だが、現在  
の顧問教員による部活動指導を  
将来にわたって実施していくこ  
とは困難であり、国を挙げての  
検討が求められると考える。

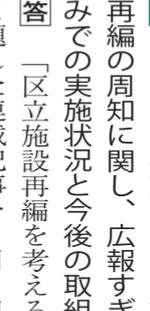
**問** 岩通ガーデン跡地等の公園  
整備事業に地域要望反映の提案  
をしてきたが、進捗状況は。  
**答** 都が実施設計に今年度着手  
予定。区として地域要望の反映  
を、機会を捉え働きかけていく。

公共施設マネジメント  
推進、放5開通後地域  
の交通安全対策を



山本あけみ  
(未来)

**問** 「公共施設マネジメント」  
管理から経営」の観点で、施設集  
約による跡地活用の議論充実を。  
**答** 跡地活用には、地域の行政  
需要や民間活力の導入も視野に、  
「経営」の視点から議論を深め、  
具体化を図っていく。



**問** これまで要望してきた施設  
再編の周知に関し、広報すぎな  
みでの実施状況と今後の取組は。  
**答** 「区立施設再編を考える」  
と題した連載記事を3月1日号  
まで9回にわたり掲載。多くの  
区民に理解を深めてもらい、来  
年度予定している「第二次実施  
プラン」の策定を含め、計画の  
着実な推進につなげていきたい。

**問** 安全安心のため、放射5号  
線供用にあたり地域の交通量調  
査を求めてきたが、対応状況は。  
**答** 現状把握のため、29年9月  
に周辺主要交差点等で交通量の  
計測調査を実施。供用開始を見  
据え、地域の交通状況の把握と  
生活道路の安全対策に努める。



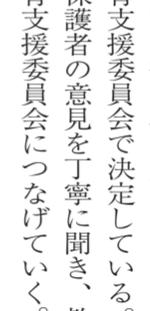
**問** 大阪の公立小学校でのイン  
クルーシブ教育を描いた映画  
「みんなの学校」の上映会や講  
演会がPTA等により広がって  
おり、地域の学校の力になりた  
いと考える人が増えている。区  
の校長に映画を観てもらい学校  
をより地域に開く取組を求める。  
**答** 開かれた学校づくりに向け  
て、取組を着実に進めていく。

インクルーシブ教育の  
推進、マイクロプラス  
チックの対策を



そねふみ  
(平和)

**問** 身体・知的障がい児の就学  
について、就学前から一緒に育  
ってきた友人と同じ地域の学校  
に在籍させたいと考える保護者  
もいる。希望を尊重し、オーブ  
ンに受け入れる体制をとるべき。  
**答** 就学先は、医師や心理士、  
特別支援学校職員などによる教  
育支援委員会などで決定している。  
保護者の意見を丁寧に聞き、教  
育支援委員会につなげていく。



**問** 町会・小中学校・地域包括  
支援センター・区民センター等  
の地区割りは一致していないが、  
地域づくりを進めるには、圏域  
の考え方を整理する必要がある。  
**答** 歴史的な背景や役割等によ  
り難しい面もあるが、目的や実  
情に応じて、改善を図っていく。

**問** 個人情報の保護が、支援の  
連携の妨げにならないように扱  
いを整理しておく必要がある。  
**答** 想定される個人情報を取り  
扱いを整理して、支援対象者へ  
最善の支援が行えるよう進める。  
**問** 住民の、ボランティアの最  
初の一歩や地域の課題解決のた  
めの体制づくりを、区が責任を  
もって支援すべきと考える。  
**答** 基金の活用や社会福祉協  
会による支援等を総合的に行う  
ことで、活性化を支援していく。

**問** 地域共生社会の実現のため  
分野横断・包括的な支援体制の  
構築をどのように進めるのか。  
**答** 平成30年4月開設の在宅医  
療・生活支援センターを核とし  
て、専門家の助言等を踏まえな  
がら関係機関と連携する支援体  
制を構築する。連携分野は、福  
祉・医療・環境など区民の暮ら  
しを支える全ての分野を想定。

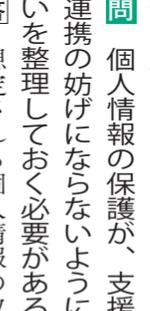
**問** 粗大ごみの不法投棄につい  
て、数量とその対応を問う。  
**答** 28年度は約2900点。告  
知シールを貼り引き取りを誘導  
しているが、引き取られない粗  
大ごみは、集積所の適正管理の  
点から清掃事務所へ回収し処分。  
**問** 今後、民泊利用者など短期  
滞在外国人が増えると予想され  
るが、ごみ出しルールの周知は  
どのように行うのか。  
**答** 事業者等への周知とともに、  
分別ルールについて多言語チャ  
ットの作成など周知徹底に努める。

地域共生社会の実現は  
暮らしの現場の地域づ  
くりから



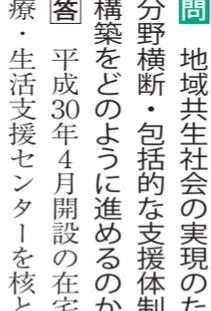
奥田雅子  
(平和)

**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う



**問** 妊娠・出産・子育てまで切  
れ目のない支援の確立にあたり  
助産院のような地域に密着した  
出産できる施設は貴重な存在。  
区は地域の中で安心して妊娠・  
出産できる「環境整備の推進を  
どのように考えているのか。  
**答** 区内で出産する割合が上昇  
した一方で、出産できる施設数  
は10施設にとどまっている。出  
産環境の充実に向け、関係機関  
に補助制度の活用を促していく。

**問** ふるさと納税に関して、現在  
ある4基金をどうアピールして  
いるのか。現状をどう考えるか。  
**答** ふるさと納税サイトやイベ  
ントでの案内、広報等を通じて  
呼びかけている。今後さらに寄  
附が集まるよう、寄附者の心を  
つかむ取組を一層強化していく。  
**問** ガバメントクラウドファン  
ディングとして文化・教育的視  
点で用途を設定することは、杉  
並区の風土・特色に合うと感じ  
る。区で想定しているものは。  
**答** 杉並の特色を生かし、荻外  
荘の復原整備と、区に本拠地を  
置く日本フィルの被災地復興支  
援活動への寄附の受付を始めた。



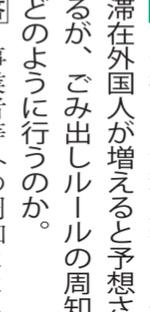
**問** 保育園のような多忙な職場  
で働く子育て中の職員には、短  
時間勤務の優先的な適用など様  
々な配慮をすべきと考えるが。  
**答** 業務の性格上、短時間勤務  
制度が利用しにくい実態がある。  
環境整備に向け、検討を進める。  
**問** 杉並区バリアフリー基本構  
想では、心のバリアフリーを推  
進する方策として「学校教育と  
の連携」を掲げているが、障害の  
ある児童と障害のない児童の交  
流等はどう取り組んでいるのか。  
**答** 共に学んだり、給食を食べ  
たりする直接的な交流や体験を  
定期的に行っている。様々な取  
組を着実に進め、互いに尊重し  
合い、支え合う心情や態度を持  
つ子どもたちを育てていく。

環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う



小林ゆみ  
(自無)

**問** 妊娠・出産・子育てまで切  
れ目のない支援の確立にあたり  
助産院のような地域に密着した  
出産できる施設は貴重な存在。  
区は地域の中で安心して妊娠・  
出産できる「環境整備の推進を  
どのように考えているのか。  
**答** 区内で出産する割合が上昇  
した一方で、出産できる施設数  
は10施設にとどまっている。出  
産環境の充実に向け、関係機関  
に補助制度の活用を促していく。



**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

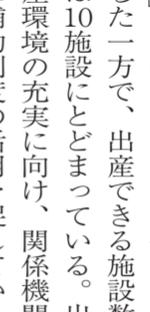
**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

妊娠・出産・子育て、  
「心のバリアフリー」  
教育の充実を！



川原口宏之  
(公明)

**問** 妊娠・出産・子育てまで切  
れ目のない支援の確立にあたり  
助産院のような地域に密着した  
出産できる施設は貴重な存在。  
区は地域の中で安心して妊娠・  
出産できる「環境整備の推進を  
どのように考えているのか。  
**答** 区内で出産する割合が上昇  
した一方で、出産できる施設数  
は10施設にとどまっている。出  
産環境の充実に向け、関係機関  
に補助制度の活用を促していく。



**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

**問** 環境問題への取組、区  
の新たな財源確保の方  
法を問う

用語説明

※1 インクルーシブ教育=障害のある者と障害のない者が同じ場で共に学ぶ仕組み  
※2 マイクロプラスチック=レジ袋やペットボトルなどのプラスチック製品が、紫外線や波によって微細に砕かれたもの

住民との約束を果たし  
久我山東原公園の恒久的  
の代替地を！



金子けんたろう  
(共産)

**問** 久我山東原公園の恒久的代替地の取得経過について、時期を見て公表するという答弁が以前あったが、公表の意思は。

**答** 相手の方との交渉や地域の方々の調整など、慎重に進めていく必要がある。示せる状況が整い次第、速やかに公表する。

**問** 総務財政委員会(29年2月)で「将来の恒久的代替地の可能性は、全体の今の動きの中で一定程度得られているというふうには理解していただいているのではないか」と思っています。

**答** 久我山東原公園の改築の用地として取得した隣地の遊び場と、久我山東原保育園、富士見丘北公園を合わせた2千㎡を超える面積となり、将来的な視点に立って見ると、保育需要の状況や近隣の土地の動きも視野にいれながら、一定規模の恒久的な遊び場を確保できる可能性がある旨を申し上げた。



**問** 恒久的代替地の取得について、結果を出せない理由をどう総括しているのか、改めて区の明確な答弁を求める。

**答** 引き続き、用地確保に向けて取り組んでいる。

保育調整指数変更で影響を受ける児童・保護者への救済策を



山田耕平  
(共産)

**問** 保育調整指数見直しは保護者に多大な影響。短期間での見直しにより負担と混乱が生じている。児童・保護者が不利益を被らないよう対応策の検討を。

**答** 育児休業加点の設定、認可外保育施設への受託加点の廃止等、重大な影響となる変更は、対象となる方が不利益を被らないよう適用の経過措置を設ける。

**問** 各保育施設の3歳児以降等卒園児受入枠は認可外保育所も含め受入先確保を検討すべき。

**答** 歳児上限がある認可保育施設は、利用調整指数の加点により受入先確保を優先的に行う。歳児上限がある認可外保育施設の卒園児受入先確保も重要な課題。新たな保育施設整備等による定員確保策を充実し対応する。



**問** 会社都合による育休取得困難ケースや低所得世帯等、生計維持のため早期職場復帰が必要なケースは、育休制度適用対象外として加点を認めるべき。

**答** ご指摘のケースは加点を認めるべきケースもあると思われるが、公平性を担保し、客観的に判断できる基準を設定することが困難であり、現時点では加算対象にできない。

送迎保育の実現、区職員の働き方改革、未成年者の喫煙対策



木村ようこ  
(維新)

**問** 他自治体で実施している送迎保育ステーションについて、実現の可能性と導入に向けた課題を問う。

**答** ステーションの確保や人材確保など様々な課題がある。

**問** 政府は公務員の働き方改革について、フレックスタイム制等の推進を掲げている。平成29年7月には数自治体で時差勤務の試行を実施。改革の遅れは将来世代への負担となつて現れる。

**答** 区においても、まずは一部の部署から試行して検証すべき。



**問** 在宅勤務やフレックスタイム制を含めた多様な働き方を研究していくことが必要と考える。

**答** 在宅勤務やフレックスタイム制を含めた多様な働き方を研究していくことが必要と考える。

**問** たばこ広告について、横浜市広告掲載基準では「喫煙マナー向上のための広告」等を除き、たばこ会社の広告は掲載不可となつている。一方、区の広告掲載基準では「業界団体の定める広告規制に関する基準等に基づく表示をしていること」となっており、基準上は掲載可能である。今後規制する考えはあるか。

**答** ご指摘のとおり、区の基準では広告掲載できる規定になっている。今後より明確に規制するため、見直しを検討していく。

保育・防犯教育について



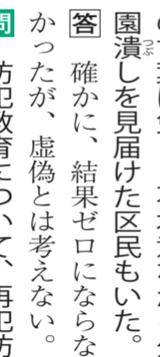
田中ゆうたろう  
(美杉)

**問** 28年の待機児童緊急対策以降、区長は区民・区議会に対し虚偽を重ねた。「29年4月待機児童ゼロを必ず実現する」、和野中・永福南小跡地等の選択肢があったにもかかわらず「一部公園を転用せざるを得ない」「公園代替地はある」「保育園が余る地域は出ない」、また「私は常々、国への働きかけが必要と主張。保育所利用調整指数の見直しは方針転換ではない」等。謝罪せよ。

**答** 待機児童の危機的状況を回避できた。ご指摘は当たらない。

**問** 話題をそらさず質問に正面から答えよ。待機児は29年4月も出た。ゼロを必ず実現するとの言葉に免じ、不本意ながら公園潰しを見届けた区民もいた。

**答** 確かに、結果ゼロにならないことが、虚偽とは考えない。



**問** 防犯教育について、再犯防止に加え、子供に対しては、犯罪は悪で、被害者やその家族に取り返しつけない傷を残すことをまず理解させよ。

**答** 更生保護への理解を深めるとともに、再犯防止の観点から規範意識についても学んでいる。犯罪を助長するようなことがないように、今後とも成長を支える。

不当利得の返還を！



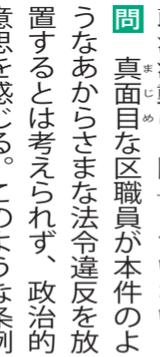
堀部やすし  
(無)

**問** ジョイフル杉並(区が中小企業向けに行っている福利厚生事業)に参加資格のない企業が団体参加し、利益を受けていた。重大な条例違反であり、10月の決算審査で話題にしているが、その後、どのように対応したか。

**答** 当該企業は、条例の定める参加要件を満たしていないことが明らかとなったので、10月末付で脱退となった。

**問** 当該企業の代表取締役は、都内のほぼ全てのパチンコ・パチスロ店が加盟しているという業界団体の3代目理事長である。田中区長とはどのような関係か。

**答** 区長と面識はなく、区長の政治活動にも関与していない。



**問** 真面目な区職員が本件のようなあからさまな法令違反を放置するとは考えられず、政治的意図を感じる。このような条例違反がなぜ放置されていたのか。

**答** 入会の審査が形式的で、参加要件を満たしているか定期的に確認することもなかったため。

**問** ジョイフル杉並に参加している間に受けた不当利得の返還を当該企業に求める必要があるか。

**答** 当該企業に悪意はなく、区に問題があったと考えている。

高円寺小中一貫校での「工事妨害」との説明は責任転嫁



松尾ゆり  
(杉む)

**問** 狭小な敷地での民間保育園建設計画が近隣で問題になったり、今年度区有地に開園したばかりの園で半年に7名が離職するなどの問題が起きている。こうした問題を未然に防ぐため、事業者選定の際、建設予定地や事業者の既存園を必ず視察、評価するよう求める。

**答** 建設予定地周辺の状況を選定委員が確認できるよう工夫する。また、必要を認めれば既存園の視察を実施する。



**問** あんさんぶる荻窪に財産交換で移転してくる税務署が、数年後に荻窪北口の再開発ビルに移転する可能性について区の認識を問う。またその場合には再度買い戻す可能性はあるか。

**答** 国に確認したが、再移転の考えはないとのことだった。

**問** 高円寺小中一貫校の工期延長は都建築安全条例や建築確認の手続き遅れ、さらに天候不順オンラインピック工場の影響等が原因。その責任は区と施工業者にあり「工事妨害」との説明は責任転嫁。訂正を求める。

**答** 訂正する考えはない。それらの影響が全くないとはいえないが、主要因は住民の抗議活動。

新杉並清掃工場を、環境行政・環境教育の推進に活かして！



大槻城一  
(公明)

**問** 地球温暖化防止を目指すパリ協定発効を受け、区の見解は。

**答** 健康で安全な生活環境を、将来世代へ引き継ぐ責務があり、温暖化対策を着実に進める。

**問** 新杉並清掃工場を環境行政に活かすべき。また環境教育推進のため、同工場見学を、私立小中学校にも推奨しては如何か。

**答** 同工場建設は公共施設建設に住民が協働した先駆けモデル。高井戸地域が環境教育の拠点になるよう、協力関係をより深め、事業を展開する。私立を含む、区内在住・在学の児童生徒への取組も進めていく。



**問** 当区のふるさと納税の影響による減収額は、全国で何位か。また、ふるさと納税の傾向として、寄附先の具体的な事業内容の提示が、自治体に求められていると考えるが、区の見解は。

**答** 全国順位では第3位。今後、寄附者に活動内容を詳しく伝えるよう努める事が、寄附を求めらる上で大変に重要と認識。

**問** ふるさと納税の推進には、民間や著名人などの応援事例も。全国に寄附を呼びかけるにはアイデアも重要。取組内容を踏まえ、適切に判断していく。



**問** 区役所庁舎等での省エネの取組と効果、また新電力導入による財政削減効果は。

**答** 空調温度の適切な設定や照明のLED化等で、東日本大震災前と比較して約14%削減。新電力導入による経費削減額は、5年間で2億9千万円余。

**問** 障害者総合支援法施行3年後の見直しに関する報告書で、意思疎通支援事業が「見直しを行うべき」とされた経緯は。

**答** 主に視覚、聴覚障害者が対象とされていたため、失語症を事業の対象者として明確化した。

**問** 失語症について区職員向け研修の内容は。窓口業務委託事業者へも研修が必要と考えるが。

**答** 「失語症に対する正しい理解について」をテーマに窓口職場の職員を対象に実施した。委託事業者の職員は、合同研修等の実施に向け事業者と調整する。



**問** 原発に頼らない再生可能エネルギーを軸とした社会を目指す取組について区の姿勢を問う。

**答** 温暖化対策や原発依存度を低減していく観点から再生可能エネルギーの導入促進が必要。住宅都市としての特性にあった活用や促進に努めていく。



けしば誠一 (平和)

原発に頼らない再生可能エネルギー推進、失語症者支援を求む

## 常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします (11~12月)

議案審査における議案各号の概要と審議結果は、8面をご覧ください。

### 常任委員会

◇総務財政委員会
【開会日】29年11月29日
【議案審査】第76・82・83・86・87号
【所管事項調査】 杉並区基本構想実現のための区民懇談会の開催について ほか3件
◇区民生活委員会
【開会日】29年11月22日
【所管事項調査】 「杉並区男女共同参画行動計画(平成30年度~33年度)」(案)の策定について ほか3件
◇保健福祉委員会
【開会日】29年11月24日
【議案審査】第77・78・79号
【所管事項調査】 杉並区保健福祉計画の改定(案)について ほか10件
【視察日】29年12月14日
【視察内容】障害者施策の調査(子ども・子育てプラザ和泉、高円寺障害者交流館)
【開会日】29年12月14日
【所管事項調査】 放課後等デイサービス事業開設経費補助対象事業者の選定結果について ほか10件
◇都市環境委員会
【開会日】29年11月27日
【議案審査】第80・81・84号
【所管事項調査】 杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)の一部改定(案)について ほか2件
◇文教委員会
【開会日】29年11月28日
【議案審査】第88・89号
【所管事項調査】 平成29年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(平成28年度分)」の実施結果について ほか4件

### 議会運営委員会

【開会日】29年11月8日
【議題】定例会の提案事項について ほか
【開会日】29年11月27日
【議題】定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】29年12月6日
【議題】議案審査結果報告について ほか

### 特別委員会

◇災害対策特別委員会
【開会日】29年11月30日
【所管事項調査】 平成29年度杉並区総合震災訓練等の実施結果について ほか2件
◇道路交通対策特別委員会
【開会日】29年12月1日
【付託事項審査】陳情の取り下げ
【所管事項調査】 外環道の進捗状況について ほか1件
【視察日】29年12月18日
【視察内容】東京外かく環状道路に関する調査(中央JCT、大泉JCT工事現場)
◇文化芸術・スポーツに関する特別委員会
【開会日】29年12月4日
【所管事項調査】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東京都等の動きについて ほか1件
◇議会改革特別委員会
【開会日】29年12月5日
【所管事項調査】 議会基本条例について ほか1件

平成29年常任委員会の行政視察報告書を区議会ホームページに掲載しました。

## 議案審査Q&A

委員会の議案審査における質疑の一部をお知らせします。  
審査の詳しい内容は、区議会ホームページの「会議録」でご覧いただけます(2月ごろ掲載予定)。

### 総務財政委員会

**土地の取得について(議案第82号)**

**質** 用地取得の経緯は。

**答** 平成27年6月に土地所有者から民間への売却を含めた財産処分の話があり、区において検討した結果、公園として利便性の向上及び避難場所の拡大等の防災機能の拡充が図れることから、地権者と協議を重ね、平成28年12月に土地開発公社において取得した。

### 都市環境委員会

**杉並区生産緑地地区を定めることができる農地等の区域の規模に関する条件を定める条例(議案第80号)**

**質** 平成4年に指定された生産緑地地区と直近とを比較し、区内生産緑地地区の状況の変化は。

**答** 平成4年の生産緑地地区の件数は166件で、面積は48・04ヘクタールであるが、直近の平成28年の件数は135件、面積は34・34ヘクタールに減少している。

### 保健福祉委員会

**保育料を改定するにまつた経緯、改定の考え方は。**

**答** 平成9年度以降、若干の見直しはあったものの、大きな保育料の改定を行ってこなかった中、公定価格である国基準とのかい離も大きくなり、行政改革推進計画の中で改定を計画した。さらに、近年、保育関連経費が増大してきていることも踏まえ、今回改定に至った。

### 文教委員会

**杉並区幼稚園教育職員給与に関する条例の一部を改正する条例(議案第88号)**

**質** 特別区人事委員会による、比較を行う民間の給与実態調査の対象は。

**答** 教育・福祉・サービス業などの産業別に、企業規模50人以上、かつ、事業所規模50人以上の事業所を対象とした調査となっている。



## 議案等の概要と審議結果

○=賛成 ×=反対 平成29年12月6日議決（※は11月21日議決）

議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	平和	共産	自無	杉わ	共生	美杉	無	維新	結果
76号	杉並区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴う非常勤職員の子が2歳に達する日まで育児休業をすることができる場合の設定等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77号	杉並区心身障害者福祉手当条例等の一部を改正する条例	所得税法の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78号	杉並区立子供園条例及び杉並区保育料等に関する条例の一部を改正する条例	保育料の改定	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	可決
79号	杉並区立子ども・子育てプラザ条例の一部を改正する条例	子ども・子育てプラザ成田西の設置	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	可決
80号	杉並区生産緑地地区を定めることができる農地等の区域の規模に関する条件を定める条例	生産緑地法の一部改正に伴う生産緑地地区を定めることができる農地等の区域の規模に関する条件の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
81号	杉並区立公園条例及び杉並区みどりの条例の一部を改正する条例	都市公園法等の一部改正に伴う運動施設の敷地面積の基準の設定等	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
82号	土地の取得について	公園事業用地（柏の宮公園拡張用地）として、浜田山二丁目1802番1他土地5,873.29㎡を取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
83号	平成29年度杉並区一般会計補正予算（第5号）	認可保育所等の設置提案を促進するための賃借料支援事業や、施設再編整備計画に基づく事業など、新たな事情や緊急性等の観点から、5事業2億7,791万8千円の補正と財源更正1事業のほか、債務負担行為の補正	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	可決
84号	特別区道の路線の認定について	高井戸東三丁目28番～28番で新たに特別区道第2581号路線を認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
85号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	山崎正博（やまざき まさひろ）氏を候補者として推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
86号	杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の給与の改定等	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	可決
87号	杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
88号	杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
89号	杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育職員の給与の改定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
90号	杉並名誉区民を定めることについて	芝祐靖（しば すけやす）氏を名誉区民に定めることに同意	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	同意
報告18号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について ※	2件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告聴取

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案の一覧」でご覧になれます。

《会派名・構成人数》

自民/杉並区議会自由民主党（11人）、公明/杉並区議会公明党（8人）、未来/区民フォーラムみらい（6人）、平和/いのち・平和クラブ（6人）、共産/日本共産党杉並区議団（5人）、自無/自民・無所属クラブ（5人）、杉わ/杉並わくわく会議（1人）、共生/共に生きる杉並（1人）、美杉/美しい杉並（1人）、無/無所属（1人）、維新/日本維新の会（1人）

# 平成30年第1回定例会では新年度予算を審査予定です。 本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます。

【開会日時】 2月9日（金）午後1時〈予定〉

会議の詳しい日程は、開会の約1カ月前に区議会ホームページ等でお知らせします。

傍聴を希望する方は、当日、区議会事務局（区役所中棟3階）へ直接お越しください。傍聴の際は、一時保育（希望日の7日前までに申し込み）や手話通訳（希望日の4日前までに申し込み）、本会議場での傍聴用ヘッドホンの貸し出しも実施していますので、ご利用ください。



議案番号	件名	概要	自民	公明	未来	平和	共産	自無	杉わ	共生	美杉	無	維新	結果
18日	道路交通対策特別委員会（視察）													
14日	保健福祉委員会（視察）													
6日	議会運営委員会													
5日	議会改革特別委員会													
4日	特別委員会													
1日	文化芸術・スポーツに関する特別委員会													
30日	災害対策特別委員会													
29日	総務財政委員会													
28日	文教委員会													
27日	議会運営委員会													
24日	都市環境委員会													
22日	保健福祉委員会													
21日	区民生活委員会													
20日	本会議													
17日	本会議													
16日	議会運営委員会													
8日	議会運営委員会													
7日	議会運営委員会													

### 議会日誌

◇NHK紅白歌合戦で映画「男はつらいよ」俳優（寅さん甥役）、女優（甥の恋人役）が出演して同映画課題曲を披露、同映画の全国ロケ地が生中継されるよう求める陳情（29陳情第23号）

【取り下げ承認】

◇外環道沿線住民の緊急時避難計画策定を事業者を求める陳情（29陳情第4号）

### 陳情の審査結果